



介護者だより No.271

平成24年3月1日
多可町社会福祉協議会発行

木の芽のふくらみや、花のつぼみに春を感じる嬉しい季節となりました。ぽかぽか陽気に誘われて、外に出る機会も自然と増えるのではないのでしょうか。みなさん、お元気でお過ごしですか。

さて、2月は、「ホーム・スイートホーム2～日傘の来た道～」の上映会を行いましたところ、たくさんの方にご来場いただきました。老いや認知症は避けては通れない問題であり、決して他人事ではありません。映画の中では、地域の方々の助け合いがありました。それは介護をする中で大きな心の支えになると思います。大変なことを自分だけで抱え込まず、どこかに吐き出せる仲間がいる、分かってくれる人がいることはとても大事なことだと思いました。家族や同じ地域に暮らすものとして、どのように関わっていけばよいかを考えるきっかけになったのではないのでしょうか。

また、2月には、男性のための介護教室を初めて開催し、15名の男性に参加していただきました。みなさんびっくりするほど積極的で熱心に車いすやおむつ交換、衣服の着脱などの介護方法を学ばれていました。男性のみなさんのこれからの活躍が楽しみです！



介護のポイント

【排泄介助のめやす】

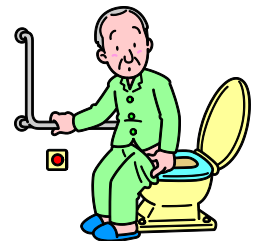
本人の生活の自立を考えると、排泄のレベルを保つこと、上げることは重要なテーマとなります。

自カトイレからおむつまで、病気や障害の状態によっていろいろなトイレや排泄用品がありますが、ふさわしい用具を選ぶことが生活のレベルアップにつながります。ポイントは安易におむつを使用しないように自立排泄をめざすことです。

◆トイレ

対象：便意・尿意があつて座位・立位が保てる人。

トイレまで行ける人（自力あるいは軽介助で車いすからの移乗ができる人）。



◆ポータブルトイレ

対象：便意・尿意があつて座位が保てる人。

ベッドの上での起き上がり（介助でも）ができるがトイレまで行くのが困難な人

ポイント：ポータブルトイレができれば通常のトイレで行えるケースが多くあります。まず、通常のトイレを利用できないかの検討をします。ただし、自力でトイレへ行ける人でも、夜間など不安な場合にはポータブルトイレを使う方法もあります。



◆便器・尿器

対象：ベッドの上が生活の中心で座位が保てない人。便意・尿意を伝えられる人。

ポイント：座ってられない人は尿器・便器を利用します。自力で尿器をあて、衣類の着脱、尿器の始末ができる人は自力で行ってもらいます。これだけで介護者の負担はだいぶ減ります。自力でできない人は介助によって便器・尿器を使います。



◆おむつ

対象：便意・尿意が伝えられない人。

ポイント：ふさわしいおむつは本人の状態によって違います。男性か女性か、活動できる人かできない人か、尿が多いか少ないかなどを考慮します。



自立につながるように家族のちょっとした声かけ、気配りを大切にしていきたいですね。

介護者支援ボランティア「すずらん」結成！

2月14日(火)、これまで介護者のつどいに参加されていた方内、5名の方が、介護者支援ボランティア「すずらん」を立ち上げられました。つどいの受付や補助など、少しでも介護者のみなさんの力になれば…と4月から活動される予定です。

すずらんの花が増えていくように、このグループにもこれから新しい人が加わって大きくなっていくように…もっと介護者のみなさんの力になれるように…との思いで名付けられました。これからの活躍が楽しみです♪



少しずつ春めいてきましたが、まだまだ寒暖定まらぬ時期です。くれぐれもお体を大切にお過ごしくださいね。

《お問い合わせ、ご連絡先》

多可町社会福祉協議会

本部・中支部 32-3425

加美支部 30-8151

八千代支部 37-0360